



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 エクシオグループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 1951 URL <https://www.exeo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶村 啓吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 林 茂樹
兼経営企画部長CFO TEL 03-5778-1105
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	138,599	10.5	5,644	92.1	5,748	6.8	3,672	22.0
2025年3月期第1四半期	125,415	0.8	2,938	17.8	5,384	14.3	3,009	15.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,494百万円 (54.4%) 2025年3月期第1四半期 1,615百万円 (△54.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	17.82	17.81
2025年3月期第1四半期	14.37	14.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	572,607	319,664	54.9	1,530.41
2025年3月期	642,505	326,783	50.0	1,551.71

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 314,529百万円 2025年3月期 321,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	31.00	—	32.00	63.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	33.00	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	710,000	5.8	47,000	10.7	48,000	10.3	30,000	11.7	146.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.8「（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	208,624,838株	2025年3月期	208,624,838株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,105,241株	2025年3月期	1,728,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	206,142,187株	2025年3月期1Q	209,373,648株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足資料の入手）

決算補足資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）におけるわが国経済は、消費者マインドが弱含んでいるものの、企業の収益は改善しており、緩やかな回復が継続しています。雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、引き続き景気拡大が期待される一方、高い金利水準の継続などによる欧米における景気の下振れや、不安定な海外情勢によるエネルギー価格の高騰、物価上昇、各国の通商政策の動向など、依然として景気を下押しするリスクに対し注視が必要な状況が続いています。

当社の事業領域である情報通信分野については、社会全体のデジタル化進展に伴い、あらゆる社会経済活動を支える最も基幹的なインフラとして、大規模自然災害やサイバーセキュリティの脅威・データ通信量の増大に対応可能な高度かつ強靱な通信ネットワークの構築が求められるとともに、AI分野の加速度的な技術変革と進展に伴い、大量のデータを蓄積・処理するデータセンター・クラウドサービスの重要性も更に増している状況です。

建設分野については、エネルギー価格や人件費等の高騰によるコスト上昇の影響が続いているものの、民間設備投資は半導体関連産業や更なる生産性向上に向けたソフトウェアへの投資拡大などに持ち直しの傾向が見られ、防災・減災、社会資本の充実に資する道路等の設備の更新・維持に向けた公共投資も底堅く推移する見通しです。さらに、エネルギー関連事業においては、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの主力電源化に向けて、蓄電池や送配電インフラ等の関連投資が今後さらに加速すると想定されます。

このような事業環境のなか、当社グループは、事業の効率化を進める一方、成長分野における積極投資を継続し、メリハリのある事業運営を行ってまいりました。通信キャリア事業におきましては、従前より成長分野への人員シフトによる生産性向上に取り組んでおりますが、引き続き子会社の再編を含めたアクセス・モバイル一体での事業運営の最適化を進めております。都市インフラ事業におきましては、大規模データセンター構築や新築ビル・工場等の電気工事の受注などが引き続き好調に推移しており、旺盛な建設需要に対して積極的に対応するとともに、選別受注を強化するなど収益性の向上にも引き続き取り組んでおります。システムソリューション事業におきましては、当社グループが強みを持つお客様に対して引き続き積極的な営業活動を展開するとともに、プロジェクトの初期段階から参加し、お客様のご要望をワンストップで解決する「DX支援ビジネス」の拡大に取り組んでまいりました。また、生成AIへの取り組みの強化の一環として生成AIセンターを設置し、生成AIを活用したビジネス拡大や生産性向上の加速に努めております。グローバル分野については、IT機器を利活用するリファービッシュビジネスやインフラシェアリング設備構築のほか、EV充電設備構築を手掛けるなどの事業の展開を行う一方、持続的成長に向けた構造改革を進め、安定した事業成長ができるよう収支改善に取り組んでおります。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は2,075億8千9百万円（前期比22.9%増）、売上高は1,385億9千9百万円（前期比10.5%増）となりました。損益面につきましては、営業利益は56億4千4百万円（前期比92.1%増）、経常利益は57億4千8百万円（前期比6.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億7千2百万円（前期比22.0%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント	通信キャリア		都市インフラ		システムソリューション	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
受注高 (注) 1	64,228	1.4%	47,447	10.5%	95,913	53.0%
売上高 (注) 1	54,630	△2.0%	40,236	25.8%	43,733	15.9%
セグメント利益	4,972	12.4%	304	— (注) 2	367	82.5%

(注) 1. 「受注高」「売上高」については外部顧客への取引高を記載しております。

2. 前年同期はセグメント損失△1,687百万円であります。

（通信キャリア事業の概況）

通信キャリア事業におきましては、アクセス分野・ネットワーク分野は堅調に推移しました。特にアクセス分野では、高速光アクセスサービスのエリア拡大と販売促進に伴い光回線工事が好調に推移しました。モバイル分野では、都市部を中心とした繋がりにくさ解消のための工事など、一部キャリア事業者における設備投資が引き続き積極的に行われており、機動的に体制を構築し対応しております。また、子会社再編や拠点集約、アクセス・モバイル一体での事業運営など効率的な業務運営に努めております。

（都市インフラ事業の概況）

都市インフラ事業におきましては、大規模データセンターに関する引き合いが引き続き強く、その他の大型開発ビル案件も含め電気関連工事が好調に推移しました。また、公共関連では鉄道関連通信工事や高速道路トンネルの通信線路工事等も堅調に推移しました。エネルギー関連では、EV充電設備や蓄電池設備工事の需要が拡大しているほか、今後の事業拡大に向けた洋上風力発電の電力自営線構築を担う人材育成を引き続き進めております。また、再生可能エネルギー事業の拡大に向けて、太陽光発電設備におけるFIP転換と蓄電池併設による設備運用、リパワリング、蓄電池を活用した市場運用など、幅広い分野で協業を展開していくことについて、日本グリーン電力開発株式会社と覚書を締結いたしました。

（システムソリューション事業の概況）

システムソリューション事業におきましては、文教系や地方自治体向けに当社グループの強みを生かしたソリューションを展開し、新たな収益基盤の構築に向けてアプローチを継続しており、Next GIGA関連の受注が好調に推移しました。併せて、システム開発・運用保守における中核会社2社を中心に、上位コンサルから保守運用までワンストップでのサービス提供を行うことで、更なる収益向上を目指す取り組みを続けております。2025年5月には本事業の強化施策としてITハードウェア機器第三者保守サービスのリーディングカンパニーである株式会社エスエーティの全発行済株式を取得いたしました。

また、グローバル分野におきましては、事業の取捨選択を含めた構造改革を精力的に進めながら、各社の強みを活かした事業運営を行い、収支改善に取り組んでおります。当四半期において、より強固な事業ポートフォリオの構築を目的に、vCargo Cloud Pte. Ltd. (GUUD) の完全子会社化を実施するとともに、Procurri Corporation Limitedの完全子会社化の手続きを開始いたしました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ698億9千7百万円減少し、5,726億7百万円となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ627億7千8百万円減少し、2,529億4千2百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金等及び短期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ71億1千9百万円減少し、3,196億6千4百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	40,010	50,392
受取手形・完成工事未収入金等	279,260	181,542
未成工事支出金等	57,717	71,007
その他	10,926	12,027
貸倒引当金	△186	△161
流動資産合計	387,728	314,808
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	52,853	52,069
土地	63,420	63,903
その他（純額）	39,443	37,715
有形固定資産合計	155,716	153,688
無形固定資産		
のれん	15,124	18,332
その他	9,958	9,790
無形固定資産合計	25,082	28,122
投資その他の資産		
その他	74,591	76,591
貸倒引当金	△613	△603
投資その他の資産合計	73,977	75,987
固定資産合計	254,777	257,798
資産合計	642,505	572,607

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	83,031	55,309
短期借入金	52,126	35,614
未払法人税等	11,712	3,307
未成工事受入金	15,910	16,143
引当金	5,605	2,868
その他	38,220	31,710
流動負債合計	206,606	144,953
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	57,063	55,560
引当金	809	605
退職給付に係る負債	9,963	10,381
その他	21,277	21,441
固定負債合計	109,114	107,988
負債合計	315,721	252,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,888	6,888
資本剰余金	14,538	14,531
利益剰余金	278,791	275,843
自己株式	△2,782	△5,179
株主資本合計	297,436	292,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,045	11,309
為替換算調整勘定	3,532	1,284
退職給付に係る調整累計額	10,029	9,851
その他の包括利益累計額合計	23,606	22,445
新株予約権	102	75
非支配株主持分	5,638	5,059
純資産合計	326,783	319,664
負債純資産合計	642,505	572,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	125,415	138,599
売上原価	108,866	118,495
売上総利益	16,548	20,104
販売費及び一般管理費	13,610	14,459
営業利益	2,938	5,644
営業外収益		
受取利息	59	75
受取配当金	313	351
為替差益	1,879	—
その他	617	344
営業外収益合計	2,870	771
営業外費用		
支払利息	246	274
その他	178	393
営業外費用合計	424	667
経常利益	5,384	5,748
特別利益		
投資有価証券売却益	—	761
特別利益合計	—	761
税金等調整前四半期純利益	5,384	6,510
法人税等	2,343	3,001
四半期純利益	3,041	3,508
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	31	△164
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,009	3,672

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	3,041	3,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△793	1,264
為替換算調整勘定	△214	△2,100
退職給付に係る調整額	△417	△177
その他の包括利益合計	△1,425	△1,013
四半期包括利益	1,615	2,494
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,539	2,511
非支配株主に係る四半期包括利益	75	△17

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	通信キャリア	都市インフラ	システムソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,721	31,973	37,721	125,415	—	125,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	55,721	31,973	37,721	125,415	—	125,415
セグメント利益及びセグメント損失（△）	4,424	△1,687	201	2,938	—	2,938

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	通信キャリア	都市インフラ	システムソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,630	40,236	43,733	138,599	—	138,599
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	54,630	40,236	43,733	138,599	—	138,599
セグメント利益	4,972	304	367	5,644	—	5,644

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	2,650百万円	3,204百万円
のれんの償却額	897	780

(重要な後発事象)

該当事項はありません。